



# 食品産業文化振興会

## 12月定例セミナーのご案内



テーマ

# 今、会社が問われるリスクマネジメントとは ＜将来の震災対応を考える＞

日本の会社はすでにリスクマネジメント・危機管理を学び、業務に取り入れていますが、事故・事件・災害が起きると実際にほとんどが役に立っていません。なぜでしょうか？それはリスク・安全・危機・分散・想定外・リスク複眼思考などリスクマネジメントにからむキーワードの本質を理解していないからです。つまり、机上のリスクマネジメントが現実のリスク対応につながらないのはそこに原因があるからです。さらに空回りするリスクマネジメントの実務を現実に役に立てるためにはどんな考え方と手法をもったら良いのでしょうか？実際の経験を踏まえ、「リスクからの発想」を取り入れることでその空回りを直し、創造性とソリューションが生まれる根拠をわかりやすくお伝えます。

講演

15:00～16:30

- ① リスクと安全・安心に誤解はないのか？
- ② リスク・チャンスの複眼思考がないのはなぜか？
- ③ 発想転換と技術で将来の震災対応ができるか？
- ④ リスクが新食品開発・物流にどのように役立つか？

講師 東京農業大学 生物産業学部 教授・商学博士

**徳谷 昌勇 氏**

《プロフィール》

早稲田大学大学院修了後、成蹊大学、中央大学専門職大学院教授、早稲田大学大学院(MOT ビジネススクール・未来質管理論担当)客員教授を経て、現職。専門はリスクマネジメント・危機管理・新製品開発論。東京消防庁火災予防審議会、農林水産省、食品安全委員会、など多くの政府系委員を歴任。危機管理システム研究学会を創設。未来質管理という新製品開発手法を開発し、我が国企業の製品・サービスのイノベーション推進のために株式会社未来質中央研究所を創立、多数の大手・中堅企業(食品企業を含む)を指導し成果をあげている。

主な著書に『リスクマネジャー』、『監査役の条件』以上東洋経済新報社刊、『未来質管理のすすめ—TQC だけでは生き残れない』ダイヤモンド社、『未来質が新しい価値を生み出す』など多数。

- 日時 : 平成23年 12月 1日(木) 15:00～16:30
- 会場 : 東京八重洲ホール(東京・中央区)
- ご参加 : 食品産業文化振興会会員 無料  
一般受講ご希望者 1万円(税込)

日本食糧新聞社・食品産業文化振興会事務局

電話 03-3432-4664 FAX 03-3459-4654

〒105-0003 東京都港区西新橋2-21-2 第1南桜ビル

セミナー情報 : <http://www.nissyoku.co.jp/seminar/>